

整備候補地検討作業計画

- 作業スケジュールは以下の通り、全 11 回（27 年度 5 回、28 年度 6 回）の開催を予定しています。
- 施設整備計画の検討を実施するため、平成 28 年 11 月までに最終候補地を 3 箇所程度、選定することを目標としています。
- 検討の進捗にあわせ、その内容について適宜、情報公開をいたします。

年月	検討テーマ	検討項目	詳細内容等	
平成 27 年度	9 月	第 1 回検討委員会 ・広域化基本構想説明	(1)委員長・副委員長選任 (2)候補地検討作業計画	
	11 月	第 2 回検討委員会 ・候補地選定条件(案)の検討 ・候補地評価方法(案)の検討	(1)調査対象地抽出条件(案)の設定 (2)立地回避区域(案)の設定	・環境や景観保全、まちづくりとの整合等について、及びその検討レベル
	12 月	第 3 回検討委員会 ・候補地選定条件の決定 ・候補地評価方法の決定	(1)整備可能地域の抽出条件 (2)立地回避区域の設定	①必要施設面積 ②法的制約条件 ③物理的制約条件 ④地形・地質条件 ⑤災害・環境に対する安全性 ⑥既往の土地利用との整合性
	1 月	第 4 回検討委員会 ・第 1 次選定(案)の検討	● 1 次スクリーニング：法規制等より施設整備が困難と判断される地域を除外する	①～⑥の条件に基づき検討
	2 月	第 5 回検討委員会 ・第 1 次選定の決定 ・第 2 次以降の選定について	● 調査対象地の決定 ● 選定方針及び条件等の設定	
平成 28 年度	5 月	第 6 回検討委員会 ・第 2 次選定(案)の検討	● 2 次スクリーニング：様々な条件の組み合わせを検討し、適当な候補地の選定を行う。	⑦収集・運搬の効率性 ⑧用地取得の可能性 ⑨余熱等利用の関係 ⑩関連施設との関係
	6 月	第 7 回検討委員会 ・第 2 次選定を行い、候補地を 10～12 箇所程度選定する。		⑦～⑩の条件に基づき検討
	7 月	第 8 回検討委員会 ・第 3 次選定を行い、候補地を 5～6 箇所程度選定する。		⑪比較評価
	9 月	第 9 回検討委員会 ・候補地の現地調査の実施。	現地及び周辺の視察、確認	・前回までの検討内容を現地にて確認
	10 月	第 10 回検討委員会 ・第 4 次選定を行い、最終候補地 3 箇所程度を決定する。		⑫評価項目の重み付け
	11 月	第 11 回検討委員会 ・報告書のとりまとめ	・周辺施設の整備の方向性について、詳細を詰める事項を確認、整理	・選定経過及び結果内容 ・環境アセスの留意事項 ・環境・景観の配慮事項 ・施設の付帯機能(還元施設等)

## 整備候補地選定の手順

### 整備候補地選定の手順と考え方

- 候補地選定の手順を下図に示します。
- 検討は、以下の考え方にに基づき、4段階で進めるものとします。

第1次選定：必要面積等から整備可能地域の条件を設定し、法的規制や災害の影響など、不適切と考えられる地域を除外し、残った範囲から条件に適合する地域を抽出する。

第2次選定：各種制約への適合性、諸条件への効率性、施設整備の可能性を考慮し地域を絞り込む。

第3次選定：資源循環の中心的施設として十分に機能するための要件を満たす地域を絞り込む。

第4次選定：技術、環境、経済面などを総合的に評価して、最も合理的な箇所を選定する。

### 整備候補地選定フロー

